

第27回環境地質学シンポジウム

主催：社会地質学会 (旧名称：地質汚染—医療地質—社会地質学会)
共催：日本地質学会，日本鉱物科学会，日本情報地質学会，日本第四紀学会，内閣府認証(NPO)日本地質汚染審査機構，IUGS-IFG, Japan Chapter of IMGA
期日：2017年12月1日(金)・2日(土)
会場：日本大学文理学部図書館3階オーバル・ホール



(最寄駅：京王線「下高井戸駅」もしくは「桜上水駅」 会場まで各駅から徒歩8分)
 地図HP <http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>

参加費 (論文集込み)：社会地質学会員 6,000円 非会員 8,000円
 * 非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引 学生 無料 (論文集無し)
 ** CPDの取得が可能となりました

特別講演：環境省 大臣官房 環境保健部 環境保健企画管理課 水銀対策推進室長 西前 晶子氏
「水俣条約と我が国の水銀対策」

開始時間	演題・演者
12月1日	
10:30	開会のあいさつ 村尾 智 社会地質学会会長
水循環と地下水益管理 座長:	
10:40	北海道常呂川流域における表流水の水素・酸素安定同位体比分布 森野 祐助(北海道立総合研究機構)・大澤 賢人
10:55	浅層帯水層におけるトレーサー試験 時津 光(日本大学文理学部地球システム科学科)・竹内 真司・鈴木 誠・齋藤 裕己・大瀧 修平・田嶋 康史郎・吉田 竜矢・後藤 和幸
11:10	双葉断層帯周辺の地下水流動解析について 永井 寛(日本大学文理学部地球システム科学科)・竹内 真司
11:25	千葉県における2016年の地下水水位変動 香川 淳(千葉県地質環境研究室)・古野 邦雄
11:40-11:50	セッション討論
11:50-13:00	昼食
13:00-13:20	一日目発表のポスターコアタイム
13:30-14:30	特別講演 環境省 環境保健部 環境保健企画管理課 水銀対策推進室長 西前 晶子氏 「水俣条約と我が国の水銀対策」

開始時間	演題・演者
零細及び小規模金探掘 (ASGM) 座長:	
14:30	Mining laws compliance and small-scale gold mining practices in Camarines Norte (招待) Sarah Marie Pante-Aviado (Local Government Unit of Jose Panganiban, Camarines Norte, Philippines)
15:00	Participatory resources assessment and facility mapping in small scale gold mining community (招待) Noel Percil (BAN TOXICS! Inc.)
15:30	ASGMにおける金抽出処理がもたらす重金属可溶性について 柴田 晴音(名古屋大学)・竹中 千里・中島 和夫・成澤 昇・村尾 智
15:45-16:00	セッション討論

開始時間	演題・演者
大地の持続的利用 座長:	
16:10	環境地質に考慮した住宅開発 —オーストラリア連邦タスマニア州を例に— (招待) 本間 勝(明海大学大学院不動産学研究所)
16:40	千葉県北西部に広域に連続する難透水層(YK-C1,YK-C2)の分布(ポスター紹介) 吉田 剛(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・榎井 久・楠田 隆・酒井 豊・古野 邦雄・坂田 健太郎
16:45	千葉県北西部の地質構造と地質汚染の脆弱性(予察) 高嶋 洋(野田市役所)・風岡 修・香川 淳・吉田 剛・酒井 豊・榎井 久
17:00	青森県西部に分布する更新世の赤色土と最終間水期以降の地殻変動 仲川 隆夫(環境地質研究者)
17:15	Satellite image utilization for mapping tropical peatland's mapping in Central Kalimantan, Indonesia Kazuyo Hirose (Japan Space Systems)・Tomomi Takeda・Ici Piter Kulu・Hendrik Segah・Kitsuo Kusin・Tampung Suman
17:30-17:40	セッション討論

開始時間	演題・演者
国際協力 座長:	
17:40	フィリピンにおける零細及び小規模金探掘現場訪問の留意点について 村尾 智(産業技術総合研究所)・竹中千里・Noel PERCIL・Myline MACABUHAY・Arlene GALVEZ・Evelyn CUBELO・Richard CLUTIEREZ
17:55	国際地質科学連合の地質環境研究委員会(IUGS-COGEOM, GEM)の歴史と日本支部の活動 古野 邦雄(元IUGS-GEM日本支部)・榎井 久・風岡 修
18:10-18:20	セッション討論
18:20-18:30	総合討論
18:30-18:50	1日目発表の講演賞・奨励賞表彰

開始時間	演題・演者
12月2日	
鉱物と地質環境 座長:	
09:30	鉱物の風化作用と地球化学的影響 —山形県のいくつかの鉱山について— 林 世峻(山形大学)・五十公野裕也・村尾 智・中島和夫
09:45	焼却灰を構成する結晶性物質 相川 信之(大阪市立大学名誉教授)・木村 和也・榎井 久
10:00	土壌汚染原因解析における電子顕微鏡の有効性について 高階 義大(産菱テクノ株式会社環境分析センター)
10:15	マテリアルトレーサビリティへの寄与を目的とした集束イオンビームによる 微細加工並びに情報記録技術の開発 加田 波群(群馬大学大学院理工学府)・春山 盛善・須田 義規・佐藤 隆博・山田 尚人・三浦 健太・神谷 富裕・村尾 智・花泉 修
10:30-10:40	セッション討論
地質汚染と対策及び医療地質 座長:	
10:40	汚染源地点における汚染物質の浸透プロセス(その2) —積雪の影響— 高島 英世(関東建設(株))・榎山 知代・葛岡 等・風岡 修・加藤 晶子・亀山 瞬
10:55	ゆり子グラフ、FFPと豊洲東京新市場 榎井 久(日本地質汚染審査機構)
11:10	空間放射線量の経年変化 —築地・豊洲・筑波山を例に— 木村 和也(医療地質研究所)・榎井 久・古野 邦雄・榎山 知代・吉田 剛
11:25	電子植栽技術および土壌改良による緑化・保全への対策 福山 厚子(福井大学)・堀 照夫・許 章棟・葛原 正明・米沢 晋・益村 義幸・森 大輔・金丸 博・長谷川 和久
11:40	土壌浄化を目的とした貝化石へのカドミウムイオン吸着 —貝化石へのカドミウムイオンの吸着等温線— 堀 照夫(福井大学)・福山 厚子・許 章棟・葛原 正明・米沢 晋
11:55	地質汚染科学からみた複合モード層の限界 榎井 久(日本地質汚染審査機構)
12:10	江戸時代(1840年)に記録された新潟県佐渡島相川鉱山のじん肺 —その4. 治療薬とけだえに関する補遺— 仲川 隆夫(環境地質研究者)
12:10-13:15	昼食
社会地質学会総会	
13:15-14:05	二日目発表のポスターコアタイム
地質汚染と対策及び医療地質 座長:	
14:35	ナホトカ号重油流出事故から20年、どのように変化したか? (招待) 田崎 和江(河北潟湖沼研究所 金沢大学名誉教授)・福山 厚子・田崎 史江・新宅 義昭・新宅 睦子・片山 和哉・中村 圭一・竹原 照明・桂 嘉志浩・嶋田 敬介
15:05-15:20	セッション討論
水域における地質環境変遷と持続的利用 座長:	
15:20	茨城県霞ヶ浦の堆積史における近世以降の堆積速度変化についての検討(ポスター紹介) 井内 美郎(早稲田大学人間科学部)
15:25	潮汐卓越型海域(有明海)における浚渫地の環境評価 秋元 和實(熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター)・矢北 孝一・島崎 英行・三納 正美・柴田 成晴
15:40-15:50	セッション討論
地質災害 座長:	
16:00	2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化—流動化現象と沖積層の層序の影響 東京湾岸埋立地北部の千葉市浜田川緑地での調査から(ポスター紹介) 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・宇澤 政晃・榎山 知代・潮崎 翔一・八武崎 寿史・香川 淳・荻津 達・吉田 剛・加藤 晶子
16:05	東京湾北部の埋立地における2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化—流動化の層準 千葉市浜田川緑地での調査から(ポスター紹介) 宇澤 政晃(関東建設(株))・榎山 知代・風岡 修・潮崎 翔一・香川 淳・荻津 達・八武崎 寿史・吉田 剛・加藤 晶子
16:10	埋立層と沖積層における堆積学的特徴の違い —千葉県東京湾岸地域の例—(ポスター紹介) 小松原 純子(産業技術総合研究所)・宮地 良典・中澤 努・中島 礼・風岡 修・吉田 剛
16:15	東京湾岸埋め立て地北部の沖積層の岩相層序と人工地層中の液状化—流動化部分 市川市~千葉市における調査から 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・宮地 良典・潮崎 翔一・小松原 純子・香川 淳・吉田 剛・荻津 達・八武崎 寿史・加藤 晶子・酒井 豊・古野 邦雄・楠田 隆・中澤 努・榎井 久
16:30	2016年熊本地震の震源分布の四次元的解析 川辺 孝幸(山形大学地域教育文化学部)
16:45	「大蛇伝説」と災害—山形県小国地域周辺の場合 川辺 孝幸(山形大学地域教育文化学部)
17:00-17:15	セッション討論
17:15-17:45	総合討論
17:45-18:15	2日目発表の講演賞・奨励賞表彰・閉会

* 表題・著者名は申し込み時のものです。事前の発表取り消しなどの情報は社会地質学会ホームページにてご確認ください。
 ** ポスター表記のない発表は口頭発表(持ち時間15分)です。ポスター発表は、その日のポスターコアタイムにポスターの説明と、各セッションの際に5分間スピーチがあります。
 *** 企業展示、本学会の書籍展示、注文などを予定しています。書籍は当日参加者に限り定価の半額にて注文いただけます。

詳細情報等はHP：<http://www.jspmug.org/> まで

その他問い合わせ先：〒261-0005 千葉県千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室気付 社会地質学会 第27回環境地質学シンポジウム担当(043-243-0261)